

折に触れ 四字熟語

NO. 145 『首鼠両端』 しゅそ りょうたん

< 意味 > ぐずぐずして、どちらか一方に決めかねているたとえ。また、形勢をうかがい、心を決めかねているたとえ。日和見。穴から首だけ出したねずみが外をうかがって、両側をきよろきよろと見回している意から。

出典：『史記』灌夫伝

語釈：「首鼠」は「首施^{しゅし}」に同じで、躊躇するさまともいう。「両端」はふた心の意。

用例：自身の名利にとらわれて首鼠両端の態度をとったりしなかったということになると、話しが別になって来る。<阿川弘之・米内光政>

一言：新型コロナウイルスによる感染拡大を受けて、緊急事態宣言が4月7日東京都他に出されましたが、対象区域がついに全国に拡大しました。日本政府の決断が、この四字熟語の意味のようにぐずぐずしたとは思いません。いつどのような時期に宣言したら最も効果が出るのか決めかねたのだらうと思います。その苦悩ぶりが分かる気がします。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」